

○ 協働事業の概要

記入年月日 令和4年1月11日

事業名	小平市男女共同参画推進計画から考える連続講座事業
団体名	こだいらDV防止ネットワーク
担当課名	地域振興部市民協働・男女参画推進課
事業期間	令和3年5月7日～令和4年3月31日

いきいき協働事業の自己評価について、ご記入ください。

①地域の課題が解決されましたか。(計画時に設定した課題がどの程度解決されましたか。対象者がどう変わりましたか。)

計画策定のための地域懇談会とともに魅力ある講師による男女共同参画推進連続講座を開催し、多くの方へ新たな小平市男女共同参画推進計画素案を周知し、理解を深めてもらうことができた。

また、どの講座においても、コロナ下で社会的弱者が受けた影響は平常時の課題が顕在化したものとなり、何としても早期に男女共同参画社会の実現を果たさなければ解決に至らないという認識を持つことができる内容となった。

②団体の長所を、発揮させることが出来ましたか。(市民の共感を引き出し、行政や企業では出来ない良質な成果が得られましたか。市・団体が単独で実施するより効果的・効率的に事業展開ができましたか。)

長年、市民や市民活動団体と交流しながら活動してきた実績と経験により、各分野へのつながりを生かし、市民の望まれる講師、テーマを選定し、興味・関心の深い連続講座の実現にいたった。参加者からは『とても良い話だった』、『胸がすっきりする話だった』など、評価の高いコメントを受けている。

③協働の姿勢が図られましたか。(互いの組織としての理念や使命、組織運営の考え方など相互理解が図られたか。対等関係を維持するために適切な協議や意見交換の機会を設けましたか。相手方と十分な情報の共有が図られましたか。)

企画の段階から、月1回程度の会議を重ね、講座の実施に至った。テーマ選びや講師選定など、団体のノウハウ、これまでのつながりを活かしたものとなった。また、講座の準備段階、リハーサルにおいて、互いの役割を確認し、主体的な運営が図られた。

④改善提案がありますか。

小平市男女共同参画センター利用登録団体であることから、日頃より話し合いの場を持ち、市民活動団体の活動内容を把握しながら実施できたが、新たな団体であると、情報共有や意見交換など、回数を重ね、さらに密な連絡体制が必要と考える。

自由記載欄